

特定非営利活動法人ホープフル・タッチ

平成 30 年度事業報告・収支決算報告

令和元年 6 月

2018（平成 30）年度事業報告・収支決算報告

1. 2018（平成 30）年度事業報告（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）

1.1 概要

2018 年度はトルコ・シヤンルウルフア県ハラン市・アクチャカラ市農村部にて、避難民として生活するシリア人の子ども達を対象とし教育事業を継続したほか、栄養改善に貢献する食糧配布を実施した。また、日本国内の市民団体やボランティアと協力し、シリア難民の子ども達の描画によるアートを通じた国際交流活動を開始した。カンボジア・コンボンチュナン州コンボンレーン郡では、水上生活をする貧困層のコミュニティでの教育支援を継続した。スーダン・ハルツーム州では現地での NGO 登録プロセスを完了し、農村部の貧困世帯が居住する地域の小学校にて教育支援を開始した。

1.2 主要事業

① 施設整備・活動運営等の教育支援事業

【トルコ共和国】2018 年 4 月～2019 年 3 月

トルコで避難生活を続け、他に学習機会のないシリア人の子ども 100 名を対象に、最低限の読み書き・計算を学習する機会を定期的・継続的に得られるよう、インフォーマル教育の教室を継続運営した。トルコ・シヤンルウルフア県ハラン市及びアクチャカラ市郊外農村部の 2 ヶ所で運営していたが、事業地付近にシリア人受け入れ可能のトルコ公立小学校が設置されたことから、7 月末をもってハラン市での活動を終了。アクチャカラ市のみでの活動を継続した。公立学校への編入準備となるようトルコ語の読み書き及び会話の練習を強化し、子ども達はトルコ語での簡単な会話も可能になった。また、主に描画や工作により子ども達の自由な表現を促進し、受動的に対応する心理社会的活動を教室プログラム内で実施した。

対象地	トルコ・シヤンルウルフア県ハラン市／アクチャカラ市 
対象者	シリア難民の子ども 100 名
指導内容	学習活動：アラビア語、トルコ語、英語、算数、理科、社会 レクリエーション活動：スポーツ、図画工作、音楽、演劇

【カンボジア王国】2018 年 4 月～2019 年 3 月

プノンペンの Pannasastra 大学ボランティアグループと提携し、カンボジア・コンボンチュナン州コンボンレーン郡の水上生活コミュニティで暮らし公立学校へ通学するカンボジア人の子ども 250 人及び学校教師 7 人を対象とし、通学手段のない子どもへ通学船の提供と教師トレーニングを継続実施し、学習環境の整備と教育の質の向上に取り組んだ。

対象地	カンボジア・コンボンチュナン州コンボンレーン郡 
対象者	水上生活コミュニティにある公立学校生徒のカンボジア人の子ども 250 人及び教師 7 人
活動内容	通学船：6 日間／週の登下校時に運航 教師トレーニング：1～2 回／月指導スキルアップトレーニング・指導法改善ワークショップの実施

【スーダン共和国】2018 年 10 月～2019 年 3 月

ハルツーム州にて法人支部事務所の国際 NGO 登録を完了。市郊外農村部で貧困世帯が居住する地域にある小学校 2 校、600 名に対し学用品（ノート、鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、ペン）を配布した。学習環境改善のため、特に破損した学習机や椅子が多く生徒の学習に影響が出ている 1 校において、1 人用学習机・椅子 50 組、4 人用学習机・椅子 21 組のリサイクル修理を実施した。2019 年 3 月からは小学校が自立・持続的に貧困改善と子どもの食育に取り組めるよう、学校菜園の設置を開始した。ハルツーム州のなかでも特に貧困世帯が多い遠隔農村地の対象校にて、コミュニティ内の人的リソースを活用し、野菜や果物を育てられるよう学校菜園の設計・設置、土壌の入れ替え、給水システムの確保、植樹・種まきを行なった。

対象地	<p>スーダン・ハルツーム州ソーバ村、タイバ・アルハサナーブ・ナイム村</p> 
対象者	小学生生徒 600 名
活動内容	<p>学用品の配布：小学生生徒 600 名*1 回</p> <p>教室学習機・椅子のリサイクル修理：1 人用 50 組、4 人用 21 組</p> <p>学校菜園：小学生生徒 350 名、教員 15 名</p>

② 食糧・衛生品等の物資配布事業

【トルコ共和国】

トルコ・シャンルウルファ県アクチャカラ市郊外農村部にて、食糧不足下にある貧困層のシリア難民の家族 25 世帯を対象に、シリア人世帯が日常生活で消費する食品を中心とした食糧バスケットの配布を実施した。

③ 国内外の市民社会組織との連携及び啓発事業

兵庫県市民団体「神戸でみんなでアートしよう！！」と連携し、アートを通じた神戸市在住の子ども-シリア難民の子ども間の国際交流活動を開始した。トライアル活動として、神戸市内の屋内外会場や図書館にて、同団体主催の子ども向けイベント内でシリア難民の子どもたちの描画や現地写真を展示し啓発活動の一端としたほか、シリア難民の子どもたちの現状を伝えるトークイベントを実施した。また、シリア内戦や避難、子どもたちの現状について感覚的に伝えるシリア難民の子どもたちの絵を主軸とした絵本の制作を開始した。

2. 2018（平成 30）年度収支決算書（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）

■ 活動計算書

活動計算書

2018 年 4 月 1 日 から 2019 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	108,000	108,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,143,900	1,143,900	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	2,423,100	2,423,100	
4. その他収益			
受取利息	23		
為替差益	309,952		
雑収益	4,154	314,129	
経常収益計			3,989,129
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
業務委託費	47,192		
謝金	2,353,855		
印刷製本費	6,692		
車両費	140,693		
消耗品費	358,927		
支払寄付金	353,339		
その他経費計	3,260,698		
事業費計		3,260,698	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
支払手数料	11,818		
為替差損	482,198		
雑費	45,812		
その他経費計	539,828		
管理費計		539,828	
経常費用計			3,800,526
当期正味財産増減額			188,603
前期繰越正味財産額			4,314,159
次期繰越正味財産額			4,502,762

■ 財産目録

財産目録

2019 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	1,172,218		
新生(セキュリティカード不要版)	400,792		
みずほ(法人口座)	2,653,631		
Garanti Bankasi	423		
流動資産合計		4,227,064	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
一括償却資産			
教室用テント	275,698		
固定資産合計		275,698	
資産合計			4,502,762
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			4,502,762

■ 貸借対照表

貸借対照表

2019 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,227,064		
流動資産合計		4,227,064	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
一括償却資産	275,698		
有形固定資産計	275,698		
固定資産合計		275,698	
資産合計			4,502,762
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,314,159	
当期正味財産増減額		188,603	
正味財産合計			4,502,762
負債及び正味財産合計			4,502,762

■ 監査報告書

監事監査報告書

特定非営利活動法人
ホープフル・タッチ
理事長 高田 みほ 殿

令和元年5月25日
特定非営利活動法人
ホープフル・タッチ

監事 箱守 翠



私は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、月次の報告書を確認し、又理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 活動（収支）計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上